

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	環境美化パートナーシップ事業							予算事業名	環境美化パートナーシップ事業費			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			02	01	13	1102	経常経費					
総合計画体系	みんなの協働で進める 持続可能な行政を目指そう 市民と行政がともに支えあう体制づくり 協働による行政の推進							事業の区分	主要事業 重点事業			
								担当課係等	まちづくり協働課 まちづくり協働係			
事業期間	継続 (平成19年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
環境美化活動をととして協働のまちづくり及び地域コミュニティの活性化を図る。また、身近な公共空間の環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民団体や企業などの協働による「きれいなまち」を実現する。							道路沿い等の環境が悪化しており、環境の改善が求められていたこと。また、コミュニティの活性化も踏まえ、市民や企業の環境美化意識高揚を図ることが求められたため。					
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】					
市民団体や市内に所在する企業などが市との合意により、道路や緑地等公共的な場所の清掃・除草作業を行い、市はその活動に対し必要な支援を行う。 ・市民団体等への活動支援 (物品等の貸与・支給、傷害保険加入) ・参加者の募集広報及び事業の啓発活動 ・活動に対する表彰状の贈呈							市内に居住しているか、通学または通勤する個人で構成される団体や市内に所在する企業、法人、その他団体を対象とする。					
							【事業をとりまく環境の変化】					
							環境美化に対する意識が浸透してきており、環境美化活動に取り組む団体、企業が増えている。しかし、地域や団体、企業によって環境美化への意識の差があり、更なる広報及び支援の充実を図っていく。					
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】				
市民団体等への活動支援 参加者の募集広報及び事業の啓発活動 活動に対する表彰状の贈呈				市民団体等への活動支援 参加者の募集広報及び事業の啓発活動 活動に対する表彰状の贈呈				市民団体等への活動支援 参加者の募集広報及び事業の啓発活動 活動に対する表彰状の贈呈				

■ 事業費

		R06年度	R07年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	98	101			
歳入計 (千円)		98	101			
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	07 報償費	2	3			
	10 需用費	78	63			
	11 役務費	18	35			
歳出計 (千円) (A)		98	101			
伸び率 (%)			3.06			

備考 総合計画 117、139ページ 令和7年度予算書 60、61ページ

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	広報・ホームページ等への延べ掲載	回	目標	13.00	17.00	17.00
			実績	17.00	0.00	0.00
	物品等の貸与・支給	回	目標	20.00	20.00	20.00
			実績	17.00	0.00	0.00
成果 指標	活動合意団体	団体	目標	46.00	47.00	48.00
			実績	45.00	0.00	0.00
	参加延べ人数	人	目標	1,500.00	1,600.00	1,650.00
			実績	1,589.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	行政が常にすべての公共用地等を管理することは難しく、地域の環境美化を推進するため必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公共用地（道路・公園等）に係る美化活動を支援する事業であり、行政の関わりは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	市民団体や企業等と市が協働の手法により取り組んでいる。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	活動に係る物品支給及び保険加入等の費用は要するが、活動自体は自主的に取り組んでいる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民、市内に通勤・通学する個人により構成された団体及び市内の企業等と、市がパートナーシップを結び、その活動を支援している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	環境美化活動を通じて地域コミュニティの活性化が図られている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	環境美化に関する意識が高まっており、パートナーシップを結ぶ団体も増加傾向にある。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

市とパートナーシップを結んで活動している団体のほか、独自に活動を行っている地域や団体及び企業もある。また、新たに環境美化活動を行いたいとの相談もあり、市民や地域における環境美化意識の高揚は確実に図られている。課題としては、取り組みが盛んな地域とそうではない地域があるなど活動意識の差がみられる。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

広報やホームページ、SNSに活動の様子を掲載し、環境美化に関する市民や企業のボランティア意識の高揚を図る。平成26年度から長年環境美化に取り組む団体を表彰しており、今後もパートナーシップを結んだ団体の活動状況を確認しながら表彰を行っていく。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

方向性の具体的内容

環境美化に対する意識向上が図れるよう工夫し、継続する。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり

管理課連絡欄